

刊夕日一十月九



定額一圓五分 印刷部 電話五〇七番  
 行金五拾錢  
 日曜祭日の翌日休刊  
 發行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞社

### 太陽の如く 熱烈なれ (上)

久野正雄

日蓮上人の和歌に「心からよこしまに降る雨はあらし風こそ夜半の窓はうつらめ」と云ふのがあります。此の和歌は人の心は真である。如何なる人も心から邪ではない。若し邪なる時はそれは心ではなく、何か心をさそふものがあつた爲であらうと云ふ意味であります。

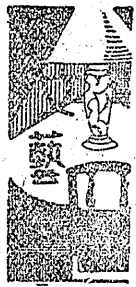
此の和歌の通り吾等の心は其の本来の姿に於ては宇宙の心それ自身であります。吾等は別々の個性を以て生れたのであるけれども、其の心は宇宙の心に連つてゐる。吾等の生命は凡て宇宙の大生命から出でて居る。其の大生命に立歸り、赤子天真の心を以て生くる事が即ち吾等の復活であり、又更生であります。耶穌が如何なる罪人と雖も幼兒の心に歸る時は尙神の子たるを得べしと説いたのも蓋し此の意味でありませう。私は此の世に絶對の悪人があるとは考へ得られません。世の中に救はれざる靈魂はない。人の眞に觸れて感激せざる心はない。世間には往々彼は冷酷な奴だとか、彼

には末の見込がないとか輕々に人を非難し、輕々に交を斷つ人があります。然しそれは偶然にも其の人の他人に對する眞實の足らざる事を自白する。

諸君冬の日の氷を見よ!! 鐵槌を以ても尚ほ且碎く事能はざる堅氷と雖も、一度太陽の熱烈なる光に溶すれば、自ら暖ためられ、溶かされて次第に流れ去るではないか。

人の心も亦斯の如し、人の吾を憎むは吾が誠の足らざる爲であります。人の吾に背くは吾が眞心の徹底せざる爲であります。

諸君! 常に太陽の如く熱烈であれ。さらば假令氷の如く冷なる心と雖も必ずや暖められ、溶かされて、懺悔の涙となつて流るゝに相違ないと私は信ずるものであります。古歌に善あしは人にあらで吾にあり 人の惡しきは吾が惡しきなり と云ふ。誠に意味深長であります。(續)



秋が来る

大竹 秋平

秋が来る

### 三井の 商品切手

番 八 四 三 二 八 三 電 平

### 藤沼醫院

平町紺屋町  
電話五〇七番

### 毛糸と 編物用具

全部新色三二一

入荷致しました

相變らず御用命の程.....

平田町  
ハシモトヤ  
糸店

### 時計 眼鏡

トキワヤ  
平一・電三三九

### 文具破格特賣

半額、三割引、二割引

### 白運動靴

五十錢 九半以下  
六十五錢 九七以上

平野前 マルカ運動具部

電話三十二番

### 外科

X 光線科  
性病科  
外科科

平町田町

### 安齊外科醫院

電話四七五番

入院隨意

マ實演と世界的名畫の公開として此の大破額

# 西部戦線異聞

——名餘千八場登他氏ズーヤエ、スイユリ。氏イムハルオウズイル。氏イレンヨジ——  
 あに秋の此? かるゐてつとを度熊るな何如に件事〇〇は國某今!! て見を畫映の此!! 民國我よめ陸の佛獨部西戦北洲歐ばれ願!! いるなばねは思を時の〇〇きべる來と念信るた固確は民國我りただのたつあがり語物きなり極壯勇斯如はに戦激

壇劇都帝てじ投をと用費と利權な大莫は館當るす躍飛てへ捕を端尖の味興衆大と新更の分氣に常を判公の判裁實事の此てし聘招を黨一夫正村木雄の

# 奥・白痴の第殺

——件事! 人殺族血の工女範模る知に導報の聞新——

館 平 : 錢〇二金料 : り限間日四りよ日十

### 石城縣議戰情勢

#### 喝采に迎へられ

#### 三候補の挨拶

曾つて見ざる昨日の盛況  
政派火ふたを切る

昨日の政友派選挙會は入場者千二百名と註せられ會つて見ざる盛況を呈したが昨報の如く井上、赤坂、田子の三氏に對し直ちに其場に於いて山崎、鈴木、古川の三縣議より立候補を交渉の結果快諾を得、三氏は木村會長の紹介に依つて全會衆の拍手を浴びつゝ、大体の左の如き挨拶を爲した

#### 井上茂作の愛黨決意

自分は身既に老境に入つて事を憂慮し少壯適任者を物色したの

#### 街の戀人

#### エー・ビー・シー

#### 平驛頭における

#### スタート種々相

お江戸日本橋は彌次喜多の第一幕で、東京新宿は戀愛行進曲のファーストシーンそれをまちで云へば先づ平驛頭あたりが彼と彼女のスタートであらう  
風景・A  
あづきいろの背廣に紺の鳥打でハッピーかなんかを啣へたシークボーイ、上野のポイルに綾織一重の帯を

#### 赤坂毅一氏の迫る

私は諸君の熱誠なる推薦に感激し耐えざるものがある

みて健康勝れず其任に耐え得るかどうかを懸念したのであるが熱烈なる御援助を受ける今日、日既に迫つて居るので殆んど考慮の餘地なくお引受けをした次第である、斯くなる上は病軀を提げて奮進努力敵壘に肉迫せずんば已まざる決心であるから何分御援助を願ひ度いのである

#### 田子健吉の献身

本日の御推薦を厚く感謝する卒直に申せば私は若さの血氣に燃

既に此事ある前より幹部に對して公認を迫つて居た胸高に上つた彼女——愛慕な人待ち顔が傍觀者の目を引いてゐる、時間は午前十時六分の赤井行臨時列車が出ようとする、にも拘はらず——で、彼女うづむき勝ちに歸る姿が、とても痛々しかった

風景・C  
I子へ、十時まで待つた叱らないから明晩七時例の所へ來ること M  
驛の告知板の白墨が鮮やかに印されてゐる、いつもは余りバツとしないこの板の存在も街の感情を汲收する

#### 事務長を決定し

#### 直ちに論陣を張る

遊説地盤を三分して  
政友派一時に猛襲

三候補決定を見た政友派には本日直ちに正式の立候補届出を爲すと共に選挙事務長を左記の如く決定  
候補者 事務長  
井上茂作 鈴木辰三郎  
赤坂毅一 古川傳一  
田子健吉 馬目雄次郎  
愈々選挙戦の本舞臺に入る事となつたが先づ言論戦は各候補が遊説地盤を郡内三分して夫々擔當明後日より連日論陣を張り一方本部より應援を求め平町、四倉、植田等にて大いに氣勢を擧ぐる由

#### 井上派の遊説日程

- 十三日 好間小學校
- 十四日 神谷小學校
- 十五日 内郷 磐城劇場
- 同日 第三小學校
- 十六日 小名濱公會堂
- 十七日 高久夏井小學校
- 十八日 豊間小學校
- 十九日 江名漁業組合
- 二十日 小川小學校
- (大内氏主催)

#### 出馬立消え

#### 昨夜擁立者が

昨夜民政派大平陸四郎氏の擁立組たる生田目、楠田、赤津其他の諸氏は民政クラブに若松氏を訪ね此際同氏の出馬を見るが當然なる旨を力説したるも若松氏に懇々説諭され徳意を断念したる模様あり大平氏自身に

#### 若松派候補

#### 明日届出か

民政若松派の草野、萩原、石川の三候補は明日正式に立候補届出を爲す豫定である

#### 民政特派員日程

- 二十三日 小名濱、植田、勿來
- 二十四日 平、内郷、好間

#### 浅野記念會館

#### 愈々着工

#### 落成は來春

磐城炭礦前社長故淺野翁の偉徳を偲びて同炭礦従業員の心から成る零細な寄附金は總額五千六百貳拾四圓六拾五錢に達したので之が最も適當なる利用法を協議した結果遂に淺野記念會館を建設することになつたが其の設計は斯界の權威前田健次郎氏の手で漸やく此程完成した爲め總工費一萬三千圓を以て近く着工し來春三月落成の豫定である

#### 土木委員會

#### 十四日招集

平町役場では十四日午前十時から會議室に於いて土木委員を招集左の事項に就いて協議すると

#### 役場移轉期日

十二日に協議 役場の建築物は白銀町の清水廣政氏の所有となるため町當局では平商業學校講堂へ移轉期日につき十二日午前十時より町役場會議室に於いて役場建築委員會を開催すると

#### 四倉水難救濟會

石城郡四倉町有志は今回海上漁船の遭難を救済し罹災者の人命財産を救護する爲め四倉濱水難救濟會を組織し會長に吉田壽三郎氏就任した會長は百五二名である

#### 秋蠶は尻上り

#### 養蠶家喜ぶ

石城地方の初秋蠶は掃立減

により出廻り薄となつた爲價格はグン／＼尻上り遂に高價三十五圓七十錢となつたがこの結果は當然晩秋蠶にも影響されるので一般養蠶家は晩秋蠶四十圓突破を見越し非常にホク／＼してゐるが現在の相場は昨年に比して丁度倍に當つてゐる

### 來年度有権者調査

## 町當局着手す

町會及衆議選舉準備

本日夫々通牒を發す

平町役場では九月十五日現在を以て次回町會及衆議院議員等の選舉資格者人名簿を作成する事になつたので本日各區長を経て其旨の通知を發したが若し此の選舉人名簿に記載されず或は記載漏となつた場合は全然選舉權がない事になるので一般町民は左の事項を注意して記載漏とならぬ様十五日迄に各區長を経て町役場へ申告書を差出されたいと

- 一、帝國臣民たる男子にして昭和四年九月十六日以前より引續き平町に住居し本年九月十五日迄に満二十五歳以上「明治三十九年九月十六日以前生の者」に達する方は漏れ無く申告して下さい
- 二、一、現住地 二、本籍地 三、生年月日 四、戸主との續柄 五、居住の始時の五項の外職業並に氏名を明確に書いて下さい
- 三、居住の始時は平町に住居を占めてから三年未満の方に限り書いて下さい
- 四、書き方に就て判明せざる廉があつたら町役場にて問合せて下さい
- 五、文字は判りやすく書いて下さい
- 六、若し昭和四年九月十六日以前より住居なさらずとも昭和五年九月十六日以前より住居の方は衆議院議員選舉權は有することでありますから其方も(第五項年月日)を正しく書いて申告して下さい

### 單身海中に飛込み

## 三名を救助す

多摩乗組員吉田君

隠れた行爲表彰さる

石城郡渡邊村廣野、信次郎二男大友秀雄(一)は先月二十八日同郡泉村下河原海岸にて

**遊泳中** あやまつて三十裡沖にまで押流され溺死せんとしたのを見かけた渡邊村玉橋茂定(二)坂田秀雄(三)の兩名が救助せんとしたが兩名も亦危ふく押流され溺死せんばかりなので之をみた舞鶴軍港多摩乗組員一等機關兵當時泉村瀧尻三九に滞在中の吉田隆君が單

身海中に 飛込み前記三名を救助した事が去る九日其筋の知るところとなり隆君の表彰方を舞鶴軍港部へ申請した

### 背後より

## 人妻を襲ふ

危ふく逃る

平町長橋町七三居住内郷村大字御座字上宿生れ大工職野田理藏(一)は昨夜午後十時頃活動よりの歸途長橋町裏新川畔にて通合した南町山本シン(二)の背後より襲ひ怪しげな振舞せんとし

### 木賃宿で知合ひ

## 銅線下口荒し廻る

毎夜の如く出ばつ自在

石城郡内郷村字宮の警城炭坑變電所で最近頻々として附近の電線や架設線の銅線を窃取する者があるのので其筋では嚴重警戒中昨夜十時頃同變電所前を二名の怪漢が麻袋を背負つて徘徊するのを取押へ

麻袋の中を調べると中には裸銅線を多數入れてあるのので其儘平署に押送されたが同人は茨城縣東茨城郡磯濱町元一丁目目下住所不定小沼藤吉(一)及び本縣相馬郡新館村字山邊澤住所不定杉岡好美(二)の兩名で職にあふれた者同志が

**鑑札が仇**  
まぬけた自動車  
昨十日午前十時三十分頃石城郡内郷村御座二七佐藤亥之松(一)は數日前同村鈴木某方で時計衣類數点價格二十圓を盗んだ事發覺し平署に檢舉さる

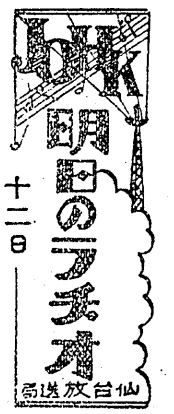
### 大膽不敵な

## 空巢覗ひ捕はる

小名濱街道で大格闘

石城郡上遠野村字上瀧生れ目下住所不定種島政雄(一)假名は八日午後九時頃石城郡湯本町字天王崎入山炭坑社員森ハル方が不在なのを奇貨として忍入り机の抽出より現金

八圓女物衣類等を窃取逃走せんとしたのを隣家の西村某が物音に氣付き駐在所へ知らせたので駐在巡查が自動車で追跡し小名濱街道にて大格闘の上逮捕平署に押送の上餘罪取調中であるが



**明日の天気**  
今晩は北東の風晴れたり曇つた  
明日は北東の風午前中晴午後には驟雨の氣味

**告生蘭相場**  
ユース氣象通報 愛社像  
今晩は北東の風晴れたり曇つた  
明日は北東の風午前中晴午後には驟雨の氣味

**明日の部**  
前九、一〇料理献立「南煎九子」小野やす子  
前九、三〇夏期講習「家庭用マッサー」(十)小川源助  
後〇、〇五運動競技(雨天順延)「六大學秋季野球リーグ戦試合状況」(明法慶帝一回戦)  
後〇、〇五二絃琴(常磐)藤合齊榮其他  
後六、〇〇子供の時間少年音楽講座「うたのおけ

**今晚の部**  
後六、〇〇子供の時間お話「東北の水と山の傳説」刈田仁  
後六、三〇聯珠講座「趣味珠法」九段高木樂山  
後七、三〇講演「滿蒙問題を中心として」駐劄間司得たる所感」第二師團司

令部陸軍少將 中川金藏  
後八、〇〇琵琶「小督堀」江錦蛙  
後八、三〇歌澤 歌澤寅滿喜  
後八、五〇義太夫「三十三間堂棟由來」淨瑠璃竹本小土佐 三味線 豊澤美佐尾  
後九、四〇時報 全國

**圖太い自動車助手**  
友人を裏切つたり  
空巢をねらつたり

居るが餘罪あるらしいと東電の懸賞に 東部平町の入選者 電力株式會社郡山支店で豫てより新販賣のシンガーラデオ受信機に懸賞付き大賣出し居たが盛大裡にこれを締切り十日同支店にて抽籤を行つた處一等及三等に平町より當選者を出したが平町の入賞者左記の兩氏である  
△一等平町四丁目佐藤武三等平町大工町石井精米所

**御座のゴソ泥** 石城郡内郷村御座二七佐藤亥之松(一)は數日前同村鈴木某方で時計衣類數点價格二十圓を盗んだ事發覺し平署に檢舉さる

**花火風船の誘惑**  
電柱に上つて 感電びつくり墜落  
風船を取らんとし過つて感電真逆様に墜落したのを通行人が発見直ちに手當をしたが一命は取止む模様であると

# 小説 七五郎

(三十三)

渡邊默禪作  
布施平八郎畫

【載轉禁】

「貴郎も御存知の通りあの人は可なり長い関係で随分お金も使はせてゐるでせう。今の抱主があれだけの身代になつたといふのも半分はあの人のお蔭なんですからね。お店の方がそんなう脈があつちまつたと見切をつけて、あなたに乗換たんだと人に言はれると、どうもね。今まで堅いといふ評判をとつて待合さんに呼ばれてもお座敷だけで歸されるのが通例だつた私の名前がね。別にきづがつくつてえほどのことぢやないでせうけれども、外の藝者衆とは少し變つた行方をし來た私の株がすたりあしないかと、只それが苦勞になるんですのよ。」

「いかにも、つまり薄情だと後指をさされるのが辛いと云ふのだね。だが歌治。それは餘計な心配ぢやないか。現在親密な關係をつけてゐるのなら或ひは然ういふ非難が無きにしもあらずだが、既にあの男とは切れたも同様に……」

「いえ。それが曖昧なんだから困つちまふのよ。話し合で別れた譯でも何でも



「それよからう。」  
「だけでも、あの人は……今、何處にゐるんでせうお店の方でしやうか?」  
「いや。もう今は勿論、家にはゐない。今日でもうまゐる十日の餘も歸らないんだ。」  
「随分ね。あなた、その家を御承知?」  
「知つてゐるやうな、知らないやうな、變な所にゐるんだよ。……」  
「此處へ呼んで戴けないこと?」  
「何にが來るもんか、横濱だもの。」

となら今後關係がないつてえ書附一本も取つてやるやうなことに。ね。その上で貴郎と握手しようぢやありませんか。でなくつちやどうも私は何時までたつても寢覺が悪いことよ。」  
「なるほど、それは御尤もなか、御念が入つてゐるな

くやうな強い嫉妬と一種の哀愁を伴つた底深い歡喜を感じた。その錯綜した思ひのうちに自分を浸き浸してしばらくじつと考へてゐるうちに何といふことなしに目の裏がうるんで來た。  
「おい、どうした。いやにしづんでしまつたぢやないか、どうした?」  
川島は怪しんで訊ねた。歌治は顔をあげてにつこりと  
「私、是から直と行きますわ。そして直接にあの人に打突つて話を極めることにしませうよ。」  
急いで女持のたばこ入を仕舞ひかけた。

融金替爲。債公。券債  
**多田井質店**  
町工大町平  
番一九五話電

看護婦急派の求めに應じます  
平町南町  
**平看護婦會**  
電話三〇七番

ナールほど、是レハ良イ石炭ダ  
良イ石炭ダト云フ事ハ何時モ聞イテ居タガ!  
此レ程良イ石炭トハ  
思ハンカツタ  
品ガ良ク  
値ガ安ク  
經濟的ニハ正ニ  
百パーセントダ  
モシ〜電話二三七番デスカ  
早く一俵御届ケ下サイ  
平 停車場前

**阿部石炭商店**  
◇配達ハ一俵ヨリ致シマス

正確ニ  
メガネ  
無料検査  
各眼科院御用  
本根

難波醫院  
平町新川町  
【釜屋新宅向】  
電話五〇二番

**梅毒 淋病**  
皮膚病 婦人病  
腸胃病 腸病  
門專  
十二指 腸虫病  
**村松**  
院醫科  
七〇一話電  
町南平

上田外科醫院  
平町南町  
電話二一九番

お商用ニ  
タクシ―電 五六九  
六三二  
ドライブニ  
イワキタクシ―

**市原醫院**  
平町田町(電話一一四番)  
内科、小兒科 市原卯太郎  
外科一般、婦人科 市原陸郎  
外科、梅毒、淋毒 市原三三男  
入院隨時

**吉田眼科病院**  
平町屋町、電話六八番